

vol. 2283

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に入れて徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 単組・専門部交渉
- 第50回国民教育要求実現大分県民集会

単組・専門部交渉

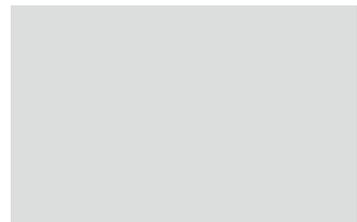
とき 8月19日(金)
ところ 教育委員室

8月19日(金)に、単組・専門部交渉を実施しました。

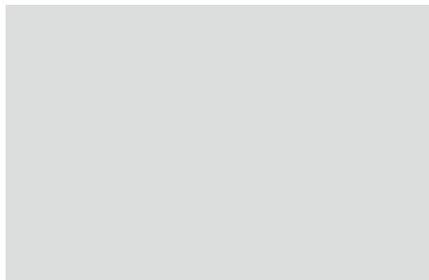
新型コロナウイルス感染拡大のため、今年度も規模を縮小せざるを得ず、単組・専門部各2名の参加でした。交渉前、参加者は学習会を行い、意思統一を図ってから交渉に臨みました。

教育長は例年どおり、冒頭代表者からの重点要求を聞いた後退席し、それ以降は教育人事課長対応となりました。そのため、「関係部署に伝える」「今後も勤務実態改善検討会等で対応する」など具体的な回答を引き出すことはできませんでしたが、私たちの要求は伝えることができました。

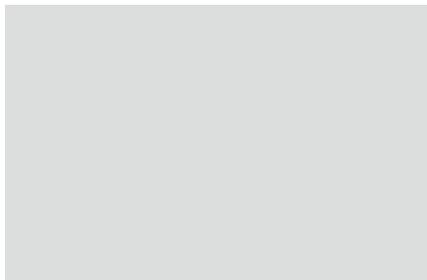
今後も、具体的な課題の解決にむけて、校長交渉をはじめ更にとりくみを強化していく必要があります。



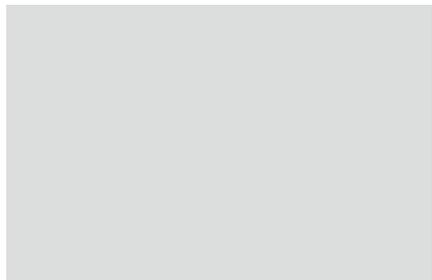
学習会の様子



大野執行委員長



岡本教育長



大和人事課長

各単組・専門部からの具体的要求内容

〈青年部〉

- すべての職種・教科・科目で採用試験の継続実施
- 交通費の増額
- 転勤休暇の新設
- 臨時・非常勤職員の待遇改善
- 部活動の負担軽減

〈女性部〉

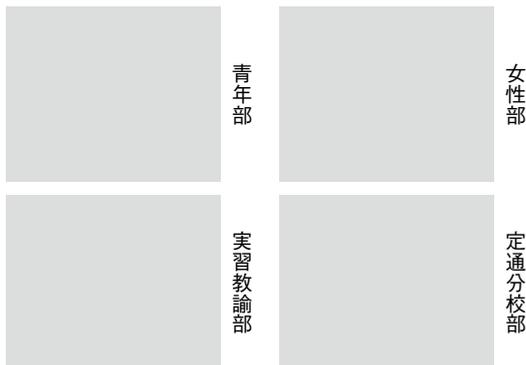
- 「家族の看護休暇」「子育て支援休暇」「健康支援休暇」の新設
- 生徒の人権に配慮した「選べる制服」の導入

〈実習教諭部〉

- 「実習教諭」の呼称の徹底
- 補職名を「実習教諭」とすること
- 教職員人権意識アンケートにおける職名の変更
- 「実習教諭」に関する文書の管理職への周知徹底

〈定通分校部〉

- 学習環境の施設・設備整備
- ワクチン接種・マスク着用における同調圧力等の問題
- 調理員の人的配置と職場環境改善
- 司書の配置と図書館の整備



〈学校司書部〉

- 学校司書の学校図書館選任とすること
- 支援学校、定時制の学校図書館の環境整備
- 学校司書の独自採用と受験年齢の引き上げ
- 国の「5か年計画」に基づいた予算配分

〈障害児学校部〉

- 学校の実態に合った適正な人的配置
- すべての職における採用試験の計画的実施
- 高校入試の問題作成は県教委が行うこと
- 学校外における医療的ケアの条件整備

〈養護教諭部〉

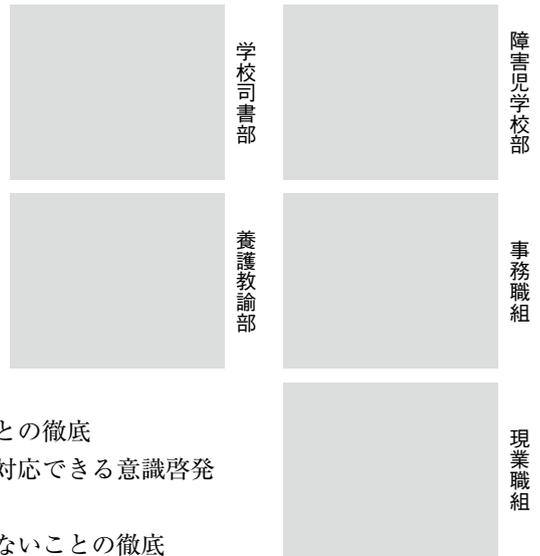
- 養護教諭を含む全職員にコロナの検査等の医療的行為に関わらせないことの徹底
- 養護教諭を医療的ケアに従事させないこと ○緊急時、全職員で迅速対応できる意識啓発

〈事務職組〉

- 定数に満たない学校への定数配置 ○衛生管理者を事務職員に強制しないことの徹底
- 就学支援金事務におけるマイナンバーを扱う職員の負担軽減 ○学校事務採用の復活

〈現業職組〉

- 介助員・農務技師の業務内容の明確化と講習会の実施 ○会計年度任用職員の待遇改善
- 介助員・農務技師・調理員の新規採用試験の実施と免許・資格を取得している者の採用



第50回国民教育要求実現大分県民集会

とき 8月24日(水) ところ 大分センチュリーホテル 他

第50回国民教育要求実現大分県民集会が開催され、大分高教組からは14名が参加しました。

この集会は、「憲法・子どもの権利条約を活かす教育の実現を求めて」をテーマとし、①憲法改悪阻止に向け全力でとりくみ、「平和を守り真実をつらぬく民主教育」の確立および、教育反動化に反対し、国民の教育権に基づく教育要求を地域の要求と結合させ、学校の自主性・主体性を尊重した学校づくりと国民合意の真の教育改革の実現をめざす ②子どもがゆとりと希望を持てる教育を保障するため、教育予算増額、教育条件整備、教育に関わる諸問題解決に向けてさまざまな人たちとともにとりくみをすすめていく ことを目的としています。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大のために集会自体が実施できませんでしたが、今回は規模を縮小して全体会と要請行動を開催しました。

当日は、受付までの時間に夜間中学校を題材としたDVD「こんばんはⅡ」を上映しました。その後、全体会の中で平岩純子県議が夜間中学についての学習会を行い、「夜間中学の開設は、学びの場の提供だけでなく、一人ひとりの尊厳を取り戻すことにつながる」と話し、大分県の夜間中学校の必要性を強く述べました。

その後、県知事・県議会・県教育長に対して要請行動を

行いました。「すべての子どもにゆきとどいた教育ができるよう、教職員を確保するとともに大幅に増やすこと」「地元で豊かな高校教育を受けられるように保障し、高校入試における普通科全県一区によって生じている課題を解決すること」「現職死亡を出さないために実効性ある労働安全衛生体制を構築すること」等を重点に、学校現場の厳しい状況や課題を訴えました。

この集会は、組合員だけでなく多くの保護者や高退教組組合員も参加して行われます。

今後も、民主的な教育の確立にむけて、とりくみをすすめます。

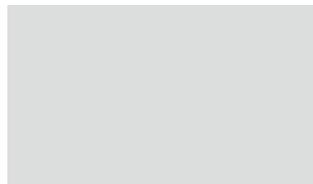
〈参加者還流報告〉

「民主教育をすすめる県民会議要請行動」への参加をしたことで、学校教育の課題を再認識しました。教員の多忙化や教員数の不足により、児童・生徒に向き合える時間が少なくなっていることは知っていましたが、各学校の現状や保護者の困りを聞くことで私自身も勉強になりました。私は教師という仕事が好きです。この仕事が長く続くように、児童・生徒の健やかな成長を支えられるように、今回の要望が実現することを切に願っています。

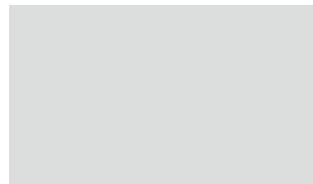
(新生支援分会 河野淳平)



DVD上映



幹事長(原田県議)挨拶



学習会



要請行動(教育委員室)